

シンポジウム 【宮城・岩手・福島】 発

防災・減災と男女共同参画

～今わたしたちが伝えたいこと～

東日本大震災に伴い、男女共同参画に関する課題は数多く明らかになりました。それらの課題が繰り返されないために、今、防災・減災に取り組む女性たちの力が求められています。そこで、宮城・岩手・福島の被災地3県において、被災女性の支援にあたった NPO が震災発生以降の女性たちを取り巻く状況を報告し、課題解決に向けて共に考えます。

2015年3月15日(日) 18:00～19:45 (開場 17:30)

会場：仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台 セミナーホール
仙台市青葉区一番町 4-11-1 141ビル (仙台三越定禅寺通り館) 5F

【パネリスト】

参加費 無料

定員 100名



田端 八重子 特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて 副理事長兼事務局長
2007・2008・2010年、「災害と女性」講座を実施し、阪神・淡路大震災での男女共同参画の視点からの問題や課題について市民とともに学ぶ。東日本大震災後、「被災地における女性の悩み・暴力相談事業」の窓口開設、被災地の「女性の仕事場づくり」、物資支援などに取り組んでいる。2014年は、「女性防災リーダー養成講座」、「避難所運営ガイドライン」作成などを実施している。



遠藤 恵 特定非営利活動法人 市民メディア・イコール 副理事長
東日本大震災後、福島県の被災者のための相談などに携わる。2013年9月には、福島的女性たちの震災体験をまとめた証言記録集『ふくしま、わたしたちの3.11～30人のHer Story～』を編集・発行、編集責任を務める(証言記録集は、100人の声を集めるために事業を継続中)。現在は、被災女性のための相談事業にも携わっている。



宗片 恵美子 特定非営利活動法人
イコールネット仙台代表理事
2008年、「災害時における女性のニーズ調査」を実施し、「女性の視点からみる防災・災害復興対策に関する提言」をまとめた。東日本大震災にあたっては、被災女性に対する支援活動、「東日本大震災に伴う『震災と女性』に関する調査」などに取り組み、2013年から、「女性のための防災リーダー養成講座」を実施している。

【コーディネーター】



浅野 富美枝 宮城学院女子大学 教授
専門は家族社会学、ジェンダー論
東日本大震災発生直後から、女性視点での被災女性支援と地域の復興・防災に取り組むとともに、宮城県内の自治体の被災女性をめぐる状況を男女共同参画の視点で調査研究。2012年5月に、宮城県内の女性たちによる女性被災者支援の記録『女たちが動く～東日本大震災と男女共同参画視点の支援』(生活思想社)を共同執筆。

<参加申込>

*イコールネット仙台
名前・所属・連絡先を明記の上お申込下さい
TEL 090-1398-5065 (佐藤)
FAX 022-271-8226
(裏面用紙をお使いください)
e-mail emuna@ve.cat-v.ne.jp
*締切日 3月7日(土)
*託児申込; 詳細は裏面

託児申込について

- 対象 1歳以上未就学児まで
- 定員 5名
- 利用料 子ども一人1日(最長5時間)1,000円
- 申込期間 平成27年2月1日(日)～28日(土)
先着順、定員になり次第締切
- 申込方法 電話、ファクス又はホームページから
- 申込先 仙台市男女共同参画推進センターエル・パーク仙台
TEL022-268-8300 FAX022-268-8304
<http://www.sendai-1.jp/jbf/>

参加申込用紙

第3回国連防災世界会議パブリックフォーラム

シンポジウム 【宮城・岩手・福島】 発

防災・減災と男女共同参画 ～今わたしたちが伝えたいこと～

FAX 022-271-8226 (佐藤)

名前.....

所属(団体名).....

連絡先

住所.....

TEL..... FAX.....

e-mail.....

ご記入いただいた個人情報は、この事業に関するご案内以外には使用いたしません。